



よしだつうしん

吉田通信

第51号
【2018年12月】

〒950-1475 新潟県新潟市南区戸頭1347-1 TEL:025-372-1138 FAX:025-372-1155

■■この吉田通信は私とご縁のあった方、ご縁をいただきたい方に差し上げている月一人通信です■■

◆平成の使用をやめることにしました！◆

こんにちは！お世話になります。吉運堂の吉田竹史です。吉田通信第51号をお送りいたします。よろしくお願いいたします。

さて、平成最後の年末を迎えようとしておりますが、皆様いかがお過ごしでしょうか？今年一年を振り返ってみますと、とにかく全国的に自然災害が多い年だったという印象です。社内に目を向けてみますと、世間で人材不足と言われているように、当社も例外ではなく、本当に人の採用が難しいと感じた一年でした。

そんな中でも、会社としてはより良い会社になることを目指し、今年も様々な取り組みをしてきました。そして、いろいろとルールも決め、その一つが「平成の使用をやめる」というものでした。資料に平成などの元号（年号）を使用せず、すべて西暦で記載するというルールにしました。

とくにパソコンの中で作るデータファイルの名前の付け方については、それを徹底するようにしました。例えば、今月1日に作ったデータがあったとしたら、そのファイル名を資料の名前だけでなく、日付＋資料名とし、また、その日付も西暦の下二桁からと統一しました。「平成30年12月1日△△資料」ではなく、「181201△△資料」という書き方です。

理由は、これだけの人数がいる会社で、個々人が自由にファイルに名前を付けてしまうと、統一感がないのはもちろん、何より、コンピュータ上で検索をしようとしたときに、引っぱりにくくなってしまふからです。さらに、来春に元号が変わり、その元号も使うとなると、「平成〇〇年って、何年前だっけ？」と、計算したりデータを探す時間が掛かってしまうことが想定できるからです。

「平成30年12月1日」と書く人、「2018年12月1日」と書く人、「181201」と書く人と、バラバラ

平成

だったのはルールが無かったからで、「平成最後の」と何度も見聞きする中で、背中を押され、「よし、平成（元号）を使うのをやめよう！」とルールを決めました。これで、コンピュータ上のデータが整理され、全社的に無駄を排除できると思います。来年も、仕事のやり方を見直して無駄をなくすルールを決めていきたいと思います！

◆発行者コラム◆

コミュニケーションの基礎は「回数」！ということで、来年も社員との飲み会は継続いたします。6人くらいで開催する幹部との「社長飲み会」、そして、1対1の「サシ飲み」を来年は、それぞれ月1回ずつ開催することを目標にしたいと思います。それでは、今年も一年、ご愛読いただきましてどうもありがとうございました。来年も引き続き、よろしくお願いいたします。なお、吉運堂の営業日ですが、年始は2日（水）からの予定です。よろしくお願いいたします。吉田竹史

■■吉田通信を今後ご希望されない方は、大変お手数ですが090-3339-0424までご連絡をお願いいたします。■■

【発行者プロフィール】

名前：吉田 竹史（よしだ たけし）
生年月日：昭和40年8月21日（O型）
出身地：新潟県白根市（現・新潟市南区）
経歴：都内の学校を卒業後、証券会社（水戸 & ニューヨーク）の4年間の勤務を経て吉運堂へ。

趣味：上手くないゴルフ、強くない将棋
（NHKの将棋対局を見ることは好きです）
家族構成：妻、娘、息子



吉田 竹史